

地域	千葉県南房総市	認定日	平成23年2月8日	通巻番号	3 - 22 - 095
----	---------	-----	-----------	------	--------------

①規格外品や低未利用品の有効活用

甘納糖など加工品開発による「伏姫みかん」のブランド化

南房総市内房地域の摘果みかんを活用した加工品の開発により「伏姫みかん」のブランド力を強化

➤ 連携体

農林漁業者

磐槻泰夫（農業）

自家農園や近隣のみかん農園からこれまで活用されてなかった摘果みかんを集め原料として提供する。完成した加工品を地元の道の駅等で販売する。

中小企業者

(有)田舎家（飲食料品卸売業）

摘果みかんを使用して、甘納糖・カリントウ・煎餅などの菓子に加工、地域農産物による新商品の開発を行い、観光客をターゲットに販路拡大する。

サポート機関等

千葉県商工会連合会、香取市商工会、千葉銀行、(独)中小企業基盤整備機構関東支部

➤ 連携の経緯

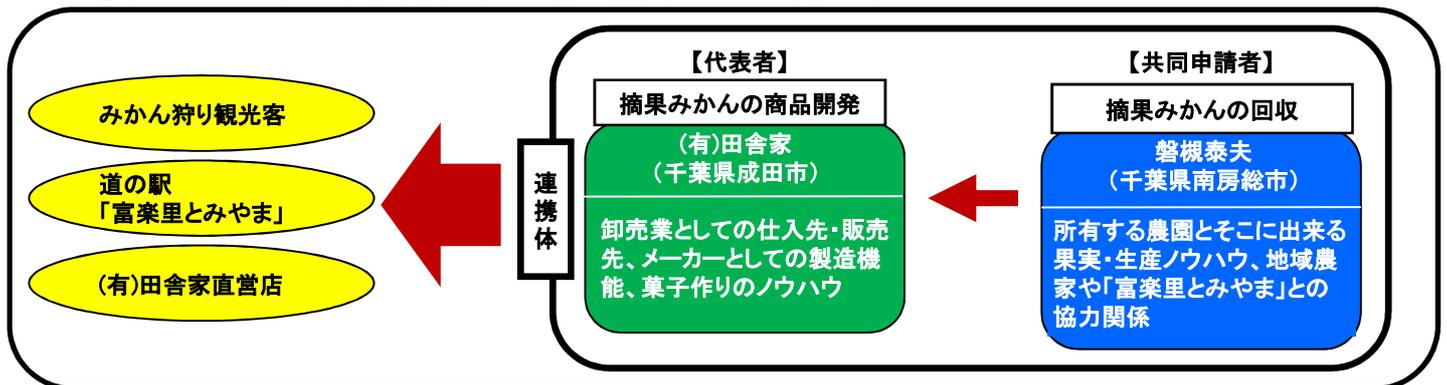
南房総市内房地域のみかん農園は、加工品の開発により商品充実による「伏姫みかん」のブランド力強化を図りたいという希望を潜在的に持っていた。(有)田舎家は、地域の素材を活かした商品作りを進める中で「伏姫みかん」の存在を知ることになり、菓子作りのノウハウを活かした商品作りをするため磐槻氏に事業化を提案、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

磐槻氏は、これまで未利用であった摘果みかんを集め、(有)田舎家に提供する。出来上がった加工品は地元の道の駅「富楽里とみやま」などで販売する。他の農業者もみかん狩りに訪れた観光客などに加工品の販売を行い、新たな収入源とする。加えて、これまで放置されているみかん農園を再生を図り、原料の安定供給に努める。(有)田舎家は自社開発商品の取扱い比率を高めることで、経営の改善を図る。

連携事業者同士でアイデアを出して商品ラインナップの充実による、「伏姫みかん」そのもののブランド価値を高め、加工品の優位性・差別化を図る。



➤ 連携による効果

農林漁業者

4年で688万円の売上高増加、地域で発生する摘果みかんの有効利用

摘果みかんの有効活用や、加工品の販売により農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者

5年で1,800万円の売上高増加、収益性の改善

仕入品中心の品ぞろえから自社開発商品の比率を高めることにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社田舎家
TEL：0476-96-1636
E-mail：iida@inakaya.co.jp

所在地：千葉県成田市青山242-1
FAX：0476-96-0983
ホームページ：http://www.inakaya.co.jp/